

ユニオンファンド 月次レポート

第 207 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2026 年 2 月 5 日作成

MONTHLY TOPIC

「米国株一強」は一旦終わるか

米国株の上昇力は今後低下していくのではないかと、昨年来、何度か申し上げてきました。米国株は企業業績から見て歴史的な割高水準にあります。実際に株価の動きが他の市場に見劣りする時間帯が増えてきました。もちろん、米国には優れた企業が数多くあり、今後も世界のリーダーであり続けるでしょう。しかし、米国株の成績が常に最高であるとは限りません。

高すぎるがゆえに上がりにくい米国株

業績の伸びが高ければ PER（株価収益率）の高さは正当化できます。AI 関連企業の成長には目を見張るものがあり、過去数年にわたり米国市場全体をけん引してきました。しかし、企業規模が巨大化したことで、成長を維持するために巨額の投資資金を要するようになっており、利益成長のスピードも次第に鈍化してきました。米国企業の業績が急速に悪化するとは思いません。まだまだ成長は続くでしょう。とはいえ、そもそも米国株の上昇はほぼ 17 年続いており、好材料は株価にかなり織り込まれた可能性があります。

米国の優位性の低下

他の市場との比較も重要です。より魅力的な市場があるなら、投資資金はそちらへ流れ込みます。米国株が最強だったのは、米国以外に魅力的な投資先が乏しかったためでもあります。しかし、米国と比べて PER が低い欧州や日本、新興国で、企業業績の伸び率がここにきて高まってきました。欧州は景気が好調とは言えませんが、利益は拡大し始めています。

ドルの軟化も注目点です。米国はこれまで、相対的に高い金利で世界の投資資金を引き寄せ、それがドル高の一因となってきました。しかし、インフレ鈍化を受けてしばらく政策金利は低下の方向と思われます。対して欧州では当面利下げはなさそうで、日本では利上げが続きそうです。金（Gold）の値上がりはドルへの信頼低下の裏返しとも言えます。ドル高が続く可能性は小さく、この面からも米国株投資の相対的な魅力は低下したと見ています。

目立ってきた新興国株の強さ

2010 年代、新興国株は米国への資金集中や一次産品需要の低迷により、厳しい時代を過ごしました。しかし現在、状況は好転してきました。新興国経済が急激によくなったわけではありませんが、これまで新興国を覆っていた負の要素が弱まり、成長率の相対的な高さが再び注目され始めています。ここ数年の好調を背景に、米国株さえ持っておけば大丈夫と思ってこられた方は、そろそろ投資先の分散を考えてみるのもよさそうです。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2026 年 1 月末現在)

基準価額

45,614 円

純資産総額

169 億 06 百万円

期間別騰落率(%)

1 ヶ月	1.41%
1 年	15.90%
3 年	47.91%
5 年	62.80%
10 年	137.39%
設定来	356.14%

複利年率(%)

9.17%

* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

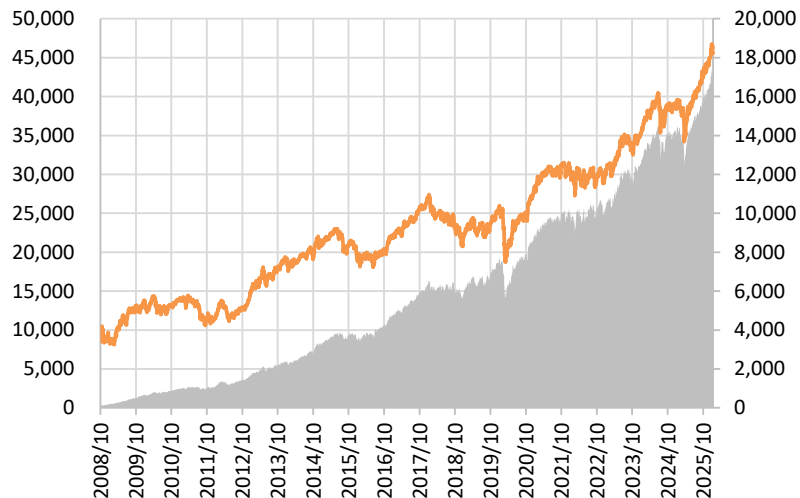
* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

* 設定来、分配の実績はありません。

基準価額と純資産総額の推移（設定来、分配の実績はありません。）

基準価額（円）

純資産総額（百万円）

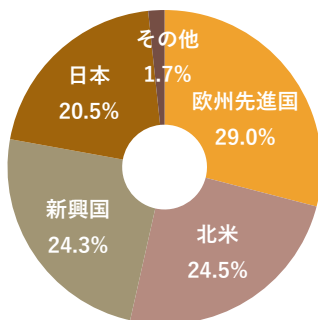


組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.4%	2.0%
スパークス F	日本	13.0%	0.3%
キャピタル F	欧米	20.8%	0.9%
ハリス F	欧米	19.6%	0.7%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	10.1%	-2.0%
コムジェスト・エマージング F	新興国	20.5%	6.2%
現金等	-	11.7%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2025 年 12 月末現在)

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2026 年 1 月の市場動向と運用状況

投資環境

年明け早々、米国はベネズエラ大統領夫妻を拘束して米国に移送し、また、イランでは反政府勢力による抵抗運動と政府による弾圧で大混乱が生じるなど、政治的・地政学的な緊張がいきなり極度に高まりました。もっとも、石油関連株がむしろ買われるなど、株式市場全体への悪影響はほとんどありませんでした。その後、トランプ政権が関税の一部の引き上げを延期すると発表したことや、米国の景気指標が堅調だったことを背景に、株価は上昇傾向が続きました。しかし、月の半ばにトランプ大統領がグリーンランド領有への強い意欲を示し、これに反発する欧州諸国に対する関税の引き上げを提示したことに加え、必要なら武力行使も辞さない考えを示唆したことから緊張が高まりました。このため米国では一時、株式・債券・ドルが売られるトリプル安の様相を呈しましたが、市場が動揺した直後にトランプ大統領が方針を撤回したため、混乱はおおむね収まりました。

日本では、高市首相が解散を検討しているとの報道を受け、政権基盤が強まって政策が前進するとの期待から、月半ばにかけて株価は急伸しました。また、新興国株は、世界経済が緩やかな拡大基調にあることや、業績拡大観測の広がり、米国金利の低下期待によるドルの軟調など、好材料が重なったことから大幅高となりました。

為替市場では、介入の前触れともされるいわゆる「レートチェック」が日米で実施されたとの観測をきっかけに、月末にかけてドル安が一気に進みました。日米がともに円安の加速と日本の長期金利の急伸を阻止したいと考えているとの見方が強まったことに加え、トランプ政権への信頼感が低下したことも一因とされました。

運用の状況

ユニオンファンドは市場の動きを若干上回り、小幅ながら値上がりしました。米国株が円換算で若干値下がりしたのに対し、多めに組み入れている日本、欧州、新興国の株式市場がいずれも好調だったことが主因です。売買は見送りました。月末の組入比率は 88.3%と、ほぼ前月並みでした。

今後の見通し

ベネズエラ、イラン、グリーンランドと、あちこちで地政学的リスクが現実化しています。米国内では、移民問題で厳しい対立が続いているほか、金融政策の根幹をなす FRB（米国連邦準備制度理事会）とその議長への政権からの圧力も強まる一方です。米国の中央銀行の独立性が揺らげば、為替を含め金融システム全般に悪影響が及ぶ恐れが無いとは言いきれせん。1 月にドルが大幅に反落したのは介入への警戒感が直接的な理由ではありますが、ドルを保有し続けることへの投資家の不安感も背景と考えられます。グリーンランド問題は、トランプ政権につきまとう不確実さを市場が再認識する契機となりました。大統領は経済への悪影響に敏感ですから、市場の混乱を避けるための配慮は続くと思いますが、関税をはじめとした圧力を伴った交渉を通じて、今後もあちこちで対立が起こる可能性があります。

日本では衆議院選挙の結果がどうなるかが当面の焦点です。このレポートを執筆している 4 日現在では自民大勝との予想が圧倒的多数ですが、いつも以上に下駄をはくまでわからないとも思っています。選挙結果が事前の予想と異なれば市場は荒れるでしょうし、逆に予想通りだったとしても、日本の国債利回りの急騰や円安再燃のリスクがあります。ただ、そうした時は投資のチャンスでもありますから、しっかり見守っていきたいと思います。

運用責任者 久保田徹郎

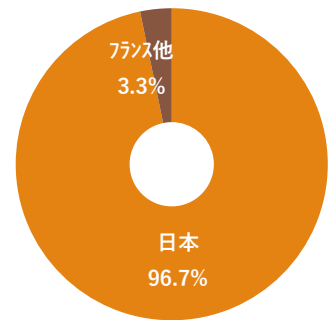
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



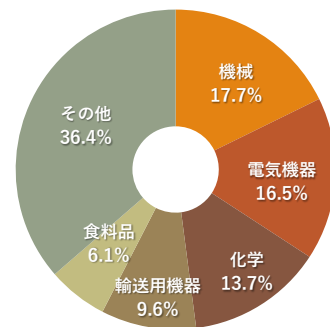
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ディスコ	3.6%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
2 信越化学工業	3.6%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
3 INPEX	3.0%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
4 スズキ	2.7%	日本	輸送用機器	自動車、自動二輪車
5 ダイキン工業	2.6%	日本	機械	エアコン世界大手
6 トヨタ自動車	2.4%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
7 セブン&アイHD	2.4%	日本	小売業	大手総合小売業
8 日立製作所	2.3%	日本	電気機器	総合電機世界大手
9 アサヒグループHD	1.9%	日本	食料品	大手酒類・飲料メーカー
10 TOTO	1.9%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
上位10銘柄	26.4%		現金等	19.6%

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年1月末現在>

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



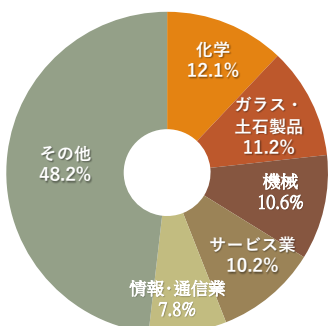
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
上村工業		日本	化学	メッキ用化学品大手
メック		日本	化学	電子基板用薬品
横浜ゴム		日本	ゴム製品	大手タイヤメーカー
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スケーラー
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
SBIホールディングス		日本	証券・商品先物取引業	金持ち株会社
イー・ギャランティ		日本	その他金融業	売却債権の保証・審査・分析
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
現金等	3.3%			

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2025年12月末現在>

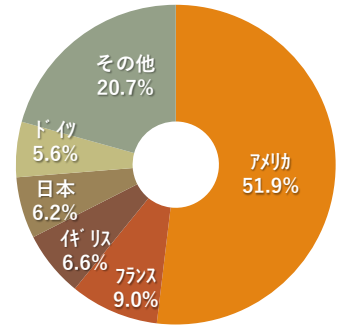
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



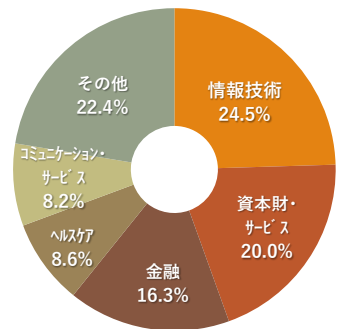
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Alphabet	4.3%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
2 Broadcom	4.2%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
3 Microsoft	3.6%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
4 Apple	2.7%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
5 TSMC	2.5%	台湾	情報技術	半導体メーカー
6 JPMorgan Chase	2.3%	アメリカ	金融	世界大手総合金融グループ
7 General Electric	2.2%	アメリカ	資本財・サービス	航空機エンジン
8 Safran	1.9%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
9 ASML	1.8%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
10 AstraZeneca	1.7%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
上位10銘柄	27.2%		現金等	5.2%

業種別構成比



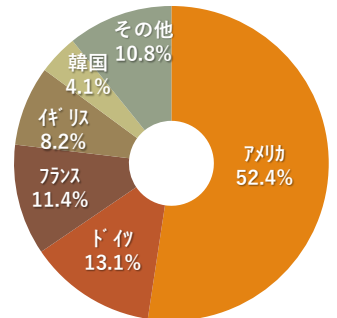
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2025年12月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額（分配金込み）の推移



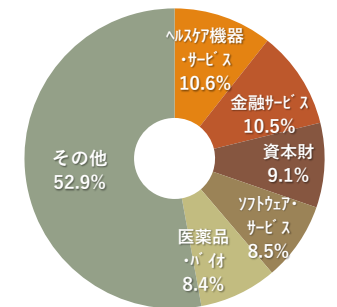
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ベクトン・ディッキンソン	3.2%	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	医療用品、実験機器、診断機器
2 アイキューヴィア	3.1%	アメリカ	医薬品・バイオ	薬品会社向け臨床研究・試験等
3 アディダス	3.1%	ドイツ	耐久消費財・アパレル	スポーツウェア世界大手
4 BNPパリバ	2.9%	フランス	銀行	フランス大手銀行
5 BMW	2.8%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
6 エアビーアンドビー	2.7%	アメリカ	消費者サービス	民泊仲介サイト
7 ジュリアス・ペア	2.7%	スイス	金融サービス	プライベートバンク
8 シスコ	2.6%	アメリカ	生活必需品流通・小売り	大手食品流通会社
9 グレンコア	2.4%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
10 バイエル	2.4%	ドイツ	医薬品・バイオ	大手化学医薬品メーカー
上位10銘柄	27.9%		現金等	3.4%

業種別構成比(マザーファンド)

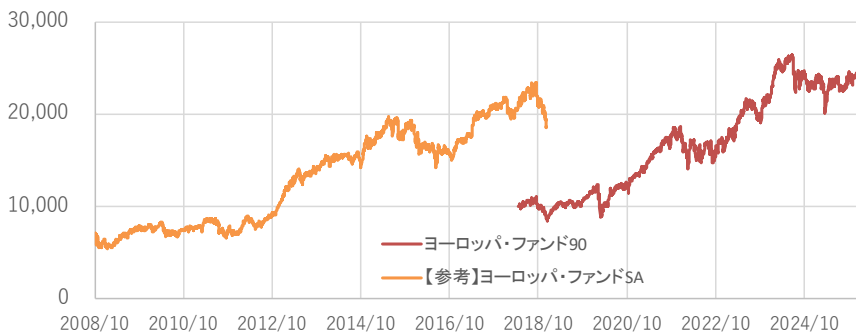


※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2025年12月末現在>

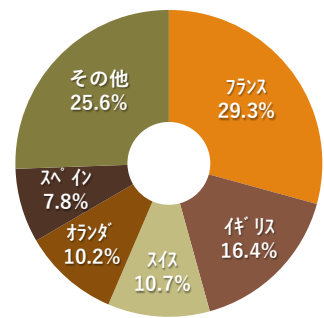
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 90)

基準価額の推移



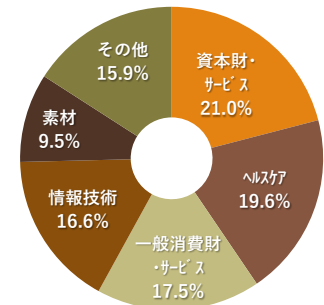
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	6.9%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 SCHNEIDER ELECTRIC	6.2%	フランス	資本財・サービス	電気設備、エネルギー管理
3 SAP	4.5%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
4 INDITEX	4.4%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
5 ESSILORLUXOTTICA	4.1%	フランス	ヘルスケア	光学製品
6 NOVONESIS	4.0%	デンマーク	素材	食品用酵素・微生物等
7 LONDON STOCK EXCHANGE	3.9%	イギリス	金融	金融市場のデータ・インフラ
8 L'OREAL	3.8%	フランス	生活必需品	化粧品世界最大手
9 ALCON	3.7%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
10 RELX	3.2%	イギリス	資本財・サービス	ビジネス顧客向け情報・分析
上位10銘柄	44.8%	現金等	2.5%	

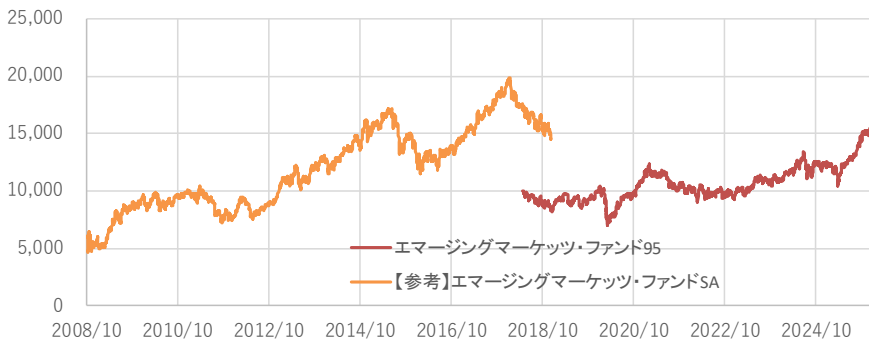
業種別構成比(マザーファンド)



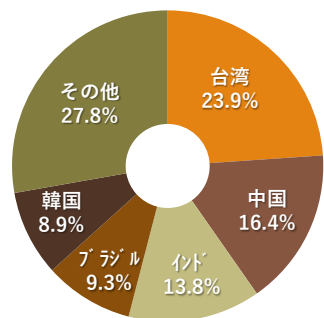
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年1月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド 95)

基準価額の推移



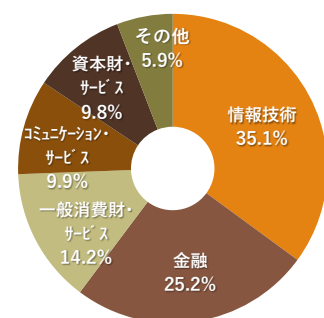
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	8.9%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 DELTA ELECTRONICS	8.9%	台湾	情報技術	電源、変圧器
3 SK HYNIX	8.1%	韓国	情報技術	半導体メーカー
4 TENCENT	7.1%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク・キング等
5 MERCADOLIBRE	5.4%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
6 DISCOVERY	3.8%	南アフリカ	金融	南アフリカの保険会社
7 ASPEED	3.6%	台湾	情報技術	半導体
8 CAPITEC BANK	3.6%	南アフリカ	金融	南アフリカの銀行
9 SHRIRAM FINANCE	3.3%	インド	金融	自動車など消費者金融サービス
10 B3	3.2%	ブラジル	金融	大手証券取引所
上位10銘柄	55.9%	現金等	3.0%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年1月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

| スポット購入について

スポット購入とは、弊社の「ファンド購入用振込先口座」へ、お客様からの都度のお振込みによりファンドを購入いただくものです。弊社へ口座開設されているすべてのお客様がご利用いただけます。

購入金額は「1 万円以上 1 円単位」で、お申込日の翌々営業日の基準価額での購入となります。

販売手数料はかかりません。

＜当日のスポット購入のお申込みは、15 時 30 分までに弊社でご入金を確認できたものに限りです。＞

弊社の「ファンド購入用振込先口座」を設けております「りそな銀行」は、振込みが 24 時間即日入金可能となっておりますが、弊社のスポット購入につきましては、当日 15 時 30 分までに“弊社でご入金の確認ができたもの”が当日のお申込み受付分となります。15 時 30 分以降に確認できたものは、翌営業日受付分となります。

※ 15 時 30 分直前などにお振込みされた場合に、当日分として確認できないことがありますのでご注意ください。

※ お振込みの際は、「振込依頼人」名を必ずお客様ご自身のお名前でお願いいたします。

※ 「ファンド購入用振込先口座」につきましては、口座開設いただいた際に弊社よりお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」または「非課税口座【NISA 口座】お客さま控え」に記載しております。（お客さま控えは再発行できますので、ご希望される場合は弊社までご連絡ください。）

※ NISA 口座でお取引いただいているお客様が NISA 口座内「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の年間投資枠 240 万円または非課税保有限度額（成長投資枠のみでは 1,200 万円）を超えて購入注文があった場合、超過分は課税口座（特定口座または一般口座）でのお取引となります。

| 月次レポート受取方法について

【受取方法：「E-mail」または「不要（弊社 HP で直接閲覧）」のご選択にご協力ください。】

現在月次レポートを「郵送」でお受取りのお客様で、インターネット・E-mail をご利用いただける環境をお持ちの方がおられましたら、“受取方法の「E-mail」への変更”に是非ご協力ください。

- ・ 月次レポートは、弊社ホームページ（HP）に掲載しております。
- ・ レポート受取方法で「E-mail」をご選択の場合、弊社 HP に掲載の都度、メールにてご案内いたします。
- 「不要」をご選択の場合でも、弊社 HP にアクセスいただければ、いつでもご覧いただけます。

ご変更は、弊社業務管理部へのご連絡（TEL:0263-38-0725）、または弊社 HP の「お取引について」→「メールアドレス・月次レポート受取方法変更」にてお手続きください。

エコの観点からも印刷紙削減を目指しております。ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。